

感染制御学講座の紹介

感染症対策で愛媛県全体の医療の質を盤石に

感染制御学講座 教授 田内久道

感染制御部は、附属病院の一部門として院内での感染症の広がりをどのように防ぐかに関して科学的な解析に基づき実践してきました。新型コロナウイルス感染症をきっかけに設置された感染制御学講座は、院内はもちろん、愛媛県全体を感染症のリスクから守ることを目標としています。そのため感染制御に関する多職種の人材育成や、行政支援などのさまざまな取り組みを行っていきます。病院内における感染制御は医療の質に直結する大事な基盤の部分です。感染症対策はやらなければ100%感染し、一生懸命することで感染を0%にできるものではありません。私たちは、医療環境や社会生活の中で実現可能な手段を用いて、感染の可能性ができるだけ下げる目的にしています。また感染症の診断と治療は著しく進歩しており、感染症専門医の立場から最新の情報をもとに、適切な感染症予防や診療を提供・発信していきます。医療の品質を上げるためにも、継続的な感染対策にご協力ください。



感染制御学講座
ホームページ



前回掲載記事
「新型コロナウイルス感染症対策特集」
INVITATION67号



PROFILE

たうちひさみち◎1989年愛媛大学医学部卒業。1999年より当院にて勤務。専門は小児科・感染症。日本血液学会専門医・指導医、日本感染症学会感染症専門医・指導医。2023年より現職。趣味はネコ。